

# 桜花片々 萌芽編

その1

## 座談会

出席者

第1回生 遠藤 貫中  
第2回生 戸嶋 正夫  
第2回生 日野岳 浩  
第3回生 藤沢 省三  
司会 編集 部

### 開校当時

遠藤 入学試験は物産館（元日報社屋、焼失）でやったが、応募者二百五十名程で入学者は百六名であった。入学式は四月二十二日物産館楼上に於て行われた。授業は盛岡尋常高等小学校（現杜陵小）の一部を借りうけてやったが、甲乙二学級で教員数は七、八名ぐらいだった。

司会 仮校舎の印象は？

遠藤 教室の窓は障子張りであったそれが妙に印象に残っている。

司会 仮校舎の期間は？

遠藤 四十日間ぐらい続いてから大沢川原の校舎（現岩手女子高）に移った。移転の際は机、椅子等各自が運搬したものだ。

司会 盛農と同居したそうですが……。  
遠藤 たしか前校舎を盛農が使い、後校舎を岩中が使用した。  
司会 どうして盛農と同居したのですか。

戸嶋 当時の大沢川原や菜園は田圃であって盛農の実習地があった。大沢川原校舎は岩中が県から借りたものだが、その一部を盛農に貸したわけだ。

司会 同居の悩みといったものは？

戸嶋 別にトラブルもなく悩みなんでものにはなかったと思う。

初代校長の思い出

司会 草創時代の思い出は、校風の基礎を据えた鈴木卓苗校長についても深いと思いますが。

日野岳 それはもう懐かしい思い出がいっぱいある。（一同々々）

司会 生徒の尊敬は非常なものだったそうですね、神様みたいという人すらあるんですが。

戸嶋 まず服装が一風変わっていた。

背広なんかではなくて生徒と同じような詰襟服、ボタンではなくホックでか

ける。当時の学習院式の服を着てこられた。それに黒いワッパ帽子、その帽子には岩中の帽章が輝いていた。そして温容の中にも威厳があったものだ。

藤沢 授業のはじめに瞑目、腹式呼吸をやらされました、なんとも落着いた気分になるものだった。精神統一して授業にとりかかろうか……。

遠藤 特別の事情でもない限り毎日朝礼があり、そのつど訓話をされたものだ。その訓話を漢文の山田仁三郎先生が起立したままで速記された。あとでその一部が「石桜」という新聞？に載せられたものだ。

司会 朝礼訓話や修身の時間にはどんなことが話題になりましたか。

日野岳 苦集滅道四諦八正道（くじゆうめつどう）というはっしようどうを説かれた。

司会 仏教ですか？

日野岳 そう仏典からのが多かった。弁論部の前身に「正語会」というのがあったが、その「正語」とは何かといった具合に諄々と説いてゆかれた。

藤沢 朝礼で話された内容について、修身の時間にテストされたものです。

戸嶋 とにかく話題が豊富であられた。

遠藤 学才もゆたかなものでしたね。

戸嶋 映画の看板一つでもすぐ人生訓の題材になった。「一殺多生剣」という映画があったが、その言葉の意味は先生から教えられた。

司会 専立寺に下宿されたこともあったそうですが……。

日野岳 盛岡中学時代ずっと下宿されたそうです。先生の使われた本や本箱が今でも残っています。ちゃんと鈴木卓苗と名が書いてある。

戸嶋 それは貴重だ。学校に寄贈してはどうです。先生の遺品は何一つないんだから……。

日野岳 考えておきましょう。

遠藤 先生の書かれた条幅を松浦君が持つてるんだがね……。

司会 一回生の松浦文弥さんですね、どうしてまた松浦さんが……。

遠藤 松浦君は先生が呉一中の校長時代に部下として働いたことがあるんだね、その時頂戴したらしい。

司会 卓苗先生の中学時代のことでは何かないですか。

日野岳 父の話だと、非常な勉強家というんではないが、ずっと級長で通したそうです。

司会 先生のご出身はどこなんですか。

戸嶋 朝礼でよく、盛岡の少年時代ということをいわれていたがね。

遠藤 紫波郡乙部の城戸八兵衛さんのところで世話になったということを知ったことがある。花巻在でのお生まれだが、少年時代なかなか苦労されたらしい。苦学人だ。二高、東大を出られたが、専攻は哲学だ。

### 学園主義

司会 話題を当時の学校行事に移したいと思いますが、どんな行事がありましたか。

藤沢 他校でやらないようなことをどんどんやられた。遠足、鬼狩り、大掃除など……大掃除では校長自ら便所掃除をやられた。常に生徒と共にある

というお気持ちだったと思う。

戸嶋 遠足は毎月一回はやった。教室内の局限された接触ではなくて、人的にふれ合える課外授業を重視されたのだ。

遠藤 行先は岩山とか築川とかのごく近いところであったが、自然に親しみ「浩然の気を養え」とよく言われたものだ。

藤沢 会食の機会も非常に多かったと思う。裏校庭での豚汁の味なんかは忘れられない。先生は「人間は食べない時には人を陥れようなんては考えないものだ」と言われていた。入学式当日講堂でみんな一緒にだんごをいただいたことも憶えている。

遠藤 兎狩り、寒稽古の納会など一年に五、六回は会食したものだ。納会には鏡開きがあった。納豆餅などというものもこの会食ではじめて食べた。司会 会食準備は誰がしたのですか。遠藤 島軒先生が先立ちしてやったようだ。

司会 勤労園があつたようにきいてますが。

藤沢 蛇の島に勤労園があつて、大根とか大豆とかを栽培したものです。

日野岳 肥料も学校から肥桶を運んでゆきました。

戸嶋 学年毎に担当区域があり、「作業」の時間がちゃんと時間割に組まれていた。勤労の精神も、報恩感謝の念も自然と培われたわけです。

司会 特色があつたんですね。

戸嶋 特色といえば授業に音楽があつたことだ。今なら普通のことだが、当時の中学では珍しいことだ。知育に偏重せず情操教育をとり上げている点、やはり卓見と思う。教科内容が変り他校でも音楽をやり始めたのは後年のことだ。

遠藤 「音楽は人の気持ちを和らげるものだ」とよく言われていた。

司会 体育面はどうでしたか。

戸嶋 毎週一回体育デーと称するものがあつた。木曜か金曜かであつたと思うが、放課後全校生一人残らず参加することになつていった。種目は柔道、剣道、バレー、テニスなどであつたが、どれも好きなものをやればよかった。校庭いっぱいネットを張り、校長自ら運動服を着てラケットを握つたものだ。藤沢さんと僕なんかはテニスをやった。

藤沢 自強術というのもありました。これも校長自ら指導しました。

司会 自強術とは？

日野岳 手足の関節を伸縮したり、皮膚筋肉を摩擦したりして気力体力を養成する術なんだ。

司会 古い「石桜」に、よく「学園主義」という言葉がみえるのですが。

戸嶋 今まで述べてきたような特色ある学校行事等がつまり学園主義の具現化したものなんだ。

遠藤 試験での評価のみにあけくれ

する学科注入主義とは対蹠的なものだと思う。

藤沢 とにかく先生というものはこわい存在であつた時代なんだが、教師、生徒、上級生、下級生は親しみをもつていたものだ。一緒にスポーツをしたせいかもしれないですね。

### 山頂に校旗樹立

司会 岩手登山も年中行事だつたようですね。

戸嶋 岩手登山は全校でやった。

藤沢 近ごろの岩手登山は麓までバス利用してようだが、当時は学校から歩いてゆきました。

司会 山頂の校旗樹立記念碑はいつ頃たてられましたか。

戸嶋 昭和四年九月十一日と記憶してる。石工が九合目に一カ月間籠城して刻み込んだが、それを生徒職員総掛りて綱で山頂まで引つ張り上げたのだ。

日野岳 記念碑の一銭貯金がありましたね。

戸嶋 そうだ。教室に箱が置いてあつて週に一回一銭銅貨を入れる。そして自分の貯金高を教室のグラフに記入していったものだ。

日野岳 記念碑ができた時には記念絵はがきが発行されました。

司会 開校から校旗制定まではかなり間があつたと思われませんか。

遠藤 校旗の定まらない間は帽子にも帽章はつけられず、恰好がつかない

でひげめを感じたものだ。(笑)

藤沢 当時の帽章は真中の中の字を銀でつくってましたね。値段も五十銭、かけそば一ぱい十銭の時ですから、高いもんでした。

日野岳 その高い帽章をわざわざへし曲げる者もあつて、それを先生にみつかると金槌でたたいて直されましたね。

司会 制服はどんなものでしたか。

遠藤 上衣の前すが背広みたいにまるくなつてました。それは旧制一高の真似をしたものなんですが……。

戸嶋 靴は黒色の編上靴でした。司会 当時の学校施設、設備はどうでしたか。

日野岳 校庭が狭くて秋の運動会は岩手公園広場で行つたものだ。

遠藤 何もなかつたな。教練用の鉄砲もなく、桜山神社招魂祭などにはひどくひげめを感じたものだ。他校はどこでも持っていたんだ。三田さんから旧式な村田銃を借りてきたが、数が足りなくて恰好つかないものだった。(笑)

藤沢 しかし公会堂前の教練査閲では最優秀、岩中が一番うまいとほめられて面目をほどこしたものでした。

司会 鈴木校長は業績を残し惜しまれつつ去られたようですが……。

藤沢 鈴木校長が呉一中に転ぜられた時三回生が最上級生でしたが、辞任と聞いて留任運動みたいなものも起つ



# 桜花片々

## 萌芽編 その2

### 会談座

出席者

第2回生 戸嶋 正夫

第3回生 藤沢 省三

第4回生 柴内 興宗

司会 編 集 部

借別の鈴木校長

柴内 わたしは仏門の関係上少年時代に報恩寺にいたことがあるので、鈴

たんです。夜分公園に集まって話合ったり代表が先生のお宅へ伺ったりしたんですが、その時にはもう生徒の力でどうなる事態でもなく、留任運動は表面化せずに終わってしまいました。

遠藤 鈴木校長は理想をもって若くして岩中にこられた。私学なれば理想が実現が可能と考えられたんだ……今日になってやらんとしているような教育をすでに三十数年前に手がけられた。それがすっかり世の進みに合っていたんだから偉いものだ。

司会 いろいろ貴重なお話を有難うございました。

本校長さんが禅をしに來られたのを覚えていて。夜十一時頃に一升上げてやってこられる。

司会 般若湯ですね……。

柴内 チビリチビリたしなむといった飲みぶり、その間和尚と禅問答やら哲学の話などをされていた。わたしは下座でお燗番をやり午前二時頃になると橋本屋にソバの注文に走らされるのでした。

藤沢 長い問答ですね。

柴内 朝まで夜を徹してやられるんです。もっとも來られるのは月に一、二回程度のものでしたが、そんな関係でわたしは岩中受験の時、受験料相当額……何円でしたかを頂戴しました。

司会 鈴木校長は七年四月に辞められたんですね。

藤沢 そうです。三回生が最上級生になった新学期早々でしたが、あまり突然のことで驚きました。三田邸にもゆき、先生にもお願ひしたのですが、一身上の都合でやめるのだからと諭されました。

司会 石桜会で校長先生の送別行事をした記録がありますが……。

藤沢 城山（紫波町）までゆきまし。天気の良い日でしたが、みんなさんみりして、朗らかに愉快にと言われ、どうしても沈み勝ちだった。

先生が盛岡を出発されたのは五月になってからと思うが、全校で駅まで見送り、音楽の武田（忠一郎）先生の指

揮で校歌大合唱で送ったのが昨日のこのように思い出される。

司会 では校長以外の先生方の印象をひとつ……。

藤沢 特徴がありましたな、学者といった感じだな。超然として細かいことには意を用いないといったタイプの先生が多かった。

戸嶋 地歴の鈴木勝二郎、英語の南部五郎、体育の広島英雄といった先生方……。

藤沢 物理化学の山口新、剣道の島軒十次郎、音楽の新藤武……。

戸嶋 「虞美人は泣いたのであーる」  
（声色一笑）

藤沢 あ、漢文の竜沢先生ですね。  
司会 英語は外人教師じゃなかったですか？

戸嶋 ロイド・ファーストという米人がいた。中一の頃英会話を教えられた。広野和蔵先生が通訳し、面白いと思ったものだ。

### 校技ラグビー誕生

司会 当時の石桜会の活躍はどうでしたか、まずその組織から……。

戸嶋 学校長が会長であり、首席教諭が副会長というところが今と異っている。各部には先生方が幹事としてつき、又各クラス推薦の委員がいた。教師生徒一体の組織であった。

司会 どんな部がありましたか。  
藤沢 遠足登山部、自強部、弓道

部、スキー、スケート、射撃部なんてももありました。

柴内 文化部関係としては正語会（弁論部）、修養会、英語会、写真部、音楽部、販売部、元締としての総務部……などがありました。

司会 校技ラグビーとよく言われますが……。

戸嶋 ラグビーを本校にもたらしたのは広島先生だ。先生は日体出たてのバリバリであったが、技ばかりでなくラグビー精神をたたき込まれた。ラグビーは紳士のスポーツ、最も男性にふさわしい競技だと。

司会 本校ではいつ頃始めましたか。  
戸嶋 昭和二年四月五日に岩手公園グラウンドでラグビー部発会式をやった。クラス対抗でやったが、その後毎年春秋二季に公園グラウンドで大会をやったものだ。

司会 対外試合はなかったですか。  
戸嶋 昭和四年の十一月に盛中（現一高）と盛中グラウンドでやったのが最初の対外試合だ。その時のスコアは今でも忘れない、15対3で本校の大勝であった。

藤沢 すごい熱狂でしたね。

司会 部員数も多かったでしょうね。  
戸嶋 記録によれば昭和五年頃の部員数は百二十名とある。だから校内大会ではABCの三クラスに分けて行ったのだ。

司会 当時の県のラグビー界はどう

でしたか。

戸嶋 なにしろ始まったばかりで、本校の他、医専（現医大）、盛中ぐらいのものだった。当時にくらべれば今日の隆盛は大変なものだが、それに付けても広島先生のまかれた種の偉大さがしのばれる。

名選手続出す

藤沢 ホッケー部が北日本大会に優勝、高松池でのインターミドルでは京城師範に敗れて第二位という成績でした。

柴内 ホッケー部は藤沢さん達が中心になってはじめてたものですね。

藤沢 三年生の時からやり始めて、五年生の時に名を成したんです。優勝の時は小林教官に大変ほめられました。

川崎、斉藤（徳）、三島、立花、富手の諸君など名選手が揃ってました。

司会 名選手といえば寺沢さん（故人・元岩大教授）などどうでしたか。

戸嶋 “投擲岩手”の元祖だな。

柴内 寺沢、横田両君は四回生だが、この二人組がたった二人でインターミドルで十数点かせいで一躍岩中の名を挙げたことがあります。寺沢君など三段跳で一位のこともあった。

司会 万能なんですか。ところで太空クラブというのがあったそうですね。

戸嶋 太空クラブは石桜会組織とは関係ない。あれは庭球部関係の卒業生が中心になってつくったOB会なんです。

す。

司会 太空とは初代校長の号でしたね。

戸嶋 そう、初代校長を慕い、その精神を物にしようとの気持からこんな名をつけたと思う。

藤沢 医専に進んだ小保内宮道さん（一回生）など医専庭球部には入らず太空クラブにばかりきていた。

戸嶋 ああ小保内さん。いい人でしたね、今は故人だが……熱血漢でした。

司会 太空クラブは石桜OB会第一号というところですね。

藤沢 まあそんなところだが、クラブ結成の一因には当時の県庭球界の腐敗が挙げられねばならないと思う。

司会 腐敗とは？

藤沢 県代表をおくる神宮大会に予選をやらぬで代表を決めるといった、でたらめなところがあつて我々は不満でならなかった。それで正統派を結成して反抗の氣勢を上げようというのであつた。

司会 反抗の成果はありましたか。

藤沢 なにしろ二十才前の若い者ばかりだし、目に見える成果といったものは無理なことだつたと思う。

戸嶋 少なくとも新風を送るぐらいの意味はあつたと思うな。

藤沢 獲得したカップ、優勝旗を集めてカップ祭りをやったが大いに愉快でした。

司会 校長がいなくても、けっこう

意気は上つていたんですね。

柴内 教練査閲では県下最優秀でしたね。

藤沢 そうでした。鷲尾、小林といったファイトマンが教官でしたが、他の授業がつぶれると必ず教練をやらせるといふ具合でした。

司会 軍事教官が威勢のよかつた時代ですね。

柴内 佐藤コンクさんにも教練はやらされました。雨の中、みぞれの降る日でも外でやる。野外教練が終れば軍歌を歌つての帰校でした。鉄砲は旧式だつたが査閲成績優秀のことで機関銃二挺新規に買つてもらつて得意でした。

藤沢 鉄砲が不足だつたり旧式だつたりで他校と一緒にする時にはちよつとキマリわかつたですな。招魂祭の時などは殊に。（笑）

柴内 中学の頃はチョットしたこと得意になつたりシヨゲたりですね。校舎は現岩女高の舎屋を使用した、古ぼけた貧弱な感じで、いやだなと思つたりもしたものです。

司会 たかが容れ物とばかりも言つてられないですね。ところで創立者が兄弟といつた関係からでしょうか、わりと医専生との接触が多かつたようですね。

戸嶋 医専を兄貴分にみていたようなところはあつた。いわゆる一貫教育のゆきつくところと早合点してゐたようだった。

柴内 ラクビー、庭球等は定期戦をやつたり、音楽部なども公会堂で合同演奏会をもつたなんて話が出たりした。合同演奏会はモノにならなかつたようだが、医専音楽の夕べに賛助出演なんてことはあつた。

藤沢 三回生が五年生の時だが、一部有志が夜の岩手公園で忘年会と洒落れた。宴が高潮していざ校歌をとつたが、夜分に中学生の高歌放吟はサワリもあろうと医専の校歌をうたつて間に合わせたことがある。（笑）

司会 ではこの辺で……。

（座談会おぼえがき）

教師像

鈴木卓苗（校長・修身）スケールが大きく、小人にはつかみどころがない。茫洋たる大器。ダルマ。

鈴木勝二郎（教頭・地歴）歴史の時間は興亡の裏面史に熱が入る博士の士。大学目録の肖像に酷似。

久道憲太郎（博物）まじめで小柄な、盛岡高等農林特待生。カンニング摘発の特技を持つ。チャボ。

大枝常志（国漢）報恩寺の八方にらみの龍からヒントを得て、斜視の師に八方さんのあだ名を呈す。

鳥軒十次郎（剣道）厳格な中に世話好きな面があり、親身になつて助言してくれた。剣道部の恩人。

山田仁三郎（国漢）校長訓話を速記した功労者。田舎のおやじさんといつた面長の好々爺。馬ッコ。